

巨木巡礼のルート整備

誰しも巨木に接すると心打たれる。特に森のなかでは荘厳な気分になる。巨木を仰ぎ見る時、畏敬の念さえ起こるのは、そこに人知を超えた何かを覚えるからだろう。森を歩くことだけでもすがすがしい。そこで、一定地域の巨木を参拝する気分で訪れることができるように、巡礼ルートを整備する。全国的なスケールでは、桜の巡礼コース、楠の巡礼コースなどもいいだろう。小さくは、村の中で、楠、杉、イチョウなど、村自慢を半日とか一日がかりで訪問できるコースでもいいだろう。コースのなかには、山も谷も、道ばたの地蔵様も含ませて、何気ない日本の心を再発見するようにしたい。